

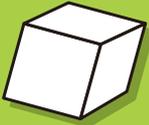
TAKE FREE



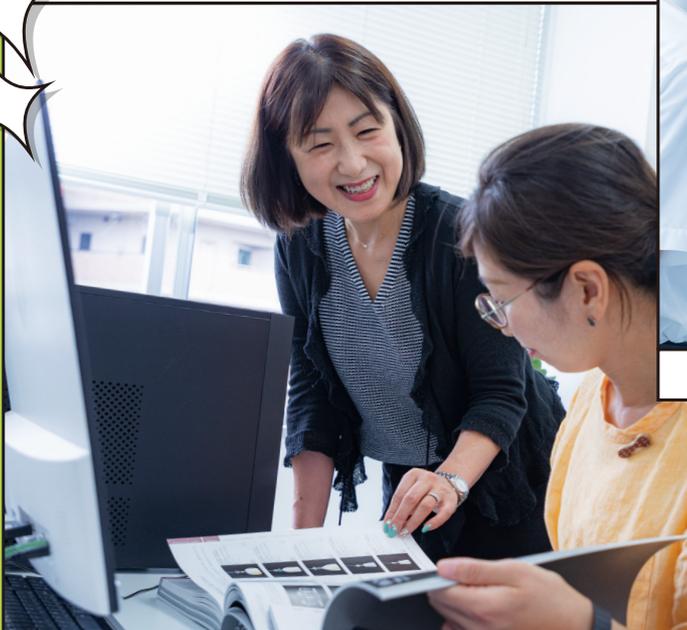
人生が輝きだす起業家応援マガジン エスキューブ **S-Cube** だより vol.17

Oct. 2020

150を超える卒業企業、45を超える入居企業から3社を特別ボリュームで紹介!



S-Cube news
Special issue Vol.17



マイデジノ株式会社

真柴 美保さん



関西・医療総合サポートセンター

松久 慎太郎さん



青雲給食株式会社

杉林 正敏さん

ここから
かがやく
ここから
はじめる

株式会社さかい新事業創造センター
エスキューブとは

起業家や新分野進出をめざす中小企業を支援するための起業家支援施設です。施設内の各居室(創業準備デスク・オフィス・研究開発用ラボ)では、経営支援の専門家(インキュベーション・マネージャー)による支援のもと、数多くの起業家やベンチャー企業が事業活動を行っています。

理想のクリニックを 実現させるために



S-Cube
入居1年目

輝く起業家紹介

関西・医療総合サポートセンター 代表 松久慎太郎さん



【会社概要】堺市北区長曽根町130番地42 さかい新事業創造センター330号室
【入居期間】2018年（創業準備デスク）、2019年～【事業内容】クリニックの事務長代行業務

URL <https://bst-m001.com/>

起業のきっかけ

医療のエキスパートでも 経営は、また別の問題

「アウトソーシング型の事務長」という事業は3年ほど前から、首都圏で目にするが増えています。今は主流となりつつありますが、関西ではまだまだこれから。しかし潜在的ニーズはあると見て、創業に踏み切ったんです。

私自身が病院での事務長経験があり、長年、人事労務関係を中心にしてきました。医学のエキスパートである院長であっても、経営に関してはわからないことばかりなのが現状です。大学の医学部を出て勤務医として何十年現場をこなそうが、経営は学ばせませんから。しかし多くの医師たちの夢は独立開業です。よく院長先生から聞くのが「夢を叶えた瞬間に、経営の難しさに気づいた」ということ。

これまでの医院は税理士や社労士、コンサルを個別に雇うことで成り立っていた。しかし効率がコストを考えると大変です。そんな経営に関するサービスを、私たちが一手に引き受けることで、救われる医院は多いはず。そこにビジネスチャンスを感じました。

入居してみても

自分の会社を きちんと見て的確な アドバイスをもらえる

こちらに入居したのは、堺で生まれた人間として、「独立開業にあたってはこの街から発展したい」という気持ちがありました。もうひとつは担当インキュベーション・マネージャーに相談できる点。私も事務長業務に関しては蓄積がありますが、経営のことで困ったときに逐一、相談できる環境というのは非常にありがたい。

以前スタッフの雇用で悩んでいた時も相談したんです。すると「今いる人はこういうタイプだからこのポジションにおいて、もう一人採用してこういう形にしたら」と、具体的なアドバイスだけでなく、自分の会社をよく見てくれていて嬉しかった記憶があります。



事業内容

求められる医療事務の スペシャリスト集団へ

医療・歯科を中心としたクリニックに向けた「アウトソーシング型の事務サポート」を運営しています。それも単なる事務代行ではなく、事務長や院長の秘書として働ける人材の提供です。大きな病院であれば組織が系統化され、それを統括する事務長がいますが、個人の医院では、院長は医者であると同時に経営者。煩雑な業務を片手片脚に抱えて、患者さんへの行き届いたケアやサービスを両立させるのは難しい。そこで私たちが事務代行することで、医療に専念できる環境づくりをお手伝いしようというものです。



それと私は「リスクを避けて成功は得られない」と思っています。ここでいろんな経営者と話すことで、成功している人はリスクを恐れず、信じる道を進んでいることも実感できました。そういう姿を身近で見られるのも、S-Cubeのいいところですね。

これからのこと

女性が輝ける組織づくり 業界知名度No.1へ

まずは「働く女性の応援隊」のような組織づくりがしたい。人材は一般企業でキャリアを積んだ女性を採用して、社内で医療の専門知識を学び、院長秘書として活躍できるように育成しています。優秀な女性でも、子育てのために正社員で働けない人は本当に多い。彼女たちに能力を發揮して活躍してもらえ、そんな柔軟性のある組織にしていきたいんです。また事務長に関しては経験者だけでなく、社内でも中間管理職を経験した人に向けての研修システムも作成していく予定です。

もうひとつは企業としての発展ですね。現在大阪府下で6000軒近くの歯科医院があり、今後も独立開業をめざす多くの若手医師がいます。目標はその半分の医院に、当社のアウトソーシングを利用してもらうようにしたい。そしてこのビジネスの認知度自体も上げていき、業界においても誰もが当社の名前を知っている、そんな会社になりたいですね。

起業家のキラキラ

人生が輝くためのキラキラした、楽しいこと、モノ、言葉などを紹介！

私だけの健康法

週一回は必ずジムへ。最低でも2時間、最長だと4時間ほどひたすら筋トレしています。身体を鍛えることも汗を流すことで、気持ちもリフレッシュしますから。以前、体調を大きく崩した時期があり、それ以来、健康管理の大切さも身にしみてわかったの。



Success

これから 起業する人へアドバイス

「はじめから絶対成功なんてしないから、やりたいことを続けること」。そしてリスクは背負うべき。実は以前の私はリスクを回避していて、あのままだったら業績は伸びなかったはず。雇用など背負うものができる、それが自分を追い込みますし、のちのちの結果につながると思います。

挑戦していること

現在は労務管理士として事務長業務をおこなっていますが、将来的に国家試験を受けて社労士の資格も取得しようと考えています。とはいえ「社労士でないから」と不安視されるようではダメなので、そこをカバーできる特化した知識で安心して仕事を任せられるように日々努力しています。



【担当 IM】
インキュベーション・マネージャー
森口 雅弘

インキュベーション・マネージャーの視点

クリニックを対象とした「アウトソーシング型事務長」というサービスは、比較的新しいビジネスです。創業当初はサービス内容を理解してもらえないに苦勞されていましたが、今では安定したお客さまも増えてきました。今までは、松久代表の能力と人柄で成長してきましたが、これからはスタッフと一緒に組織として事業を運営していくフェーズに移ってきています。松久代表の目標「大阪府下の医院の半分にアウトソーシングサービスを提供する」の実現に向けて、お手伝いしていきたいです。

人と未来を照らす ライフプランをデザイン



S-Cube
入居 2 年目

輝く起業家紹介
マイデジノ株式会社 代表取締役 真柴美保さん



【会社概要】堺市北区長曾根町 130 番地 42 さかい新事業創造センター 328 号室
【入居期間】2019 年～【事業内容】暮らしに合わせた照明空間デザインの提案

URL | <https://www.maidesigno.jp/>

事業内容

デザイン×電気工事で つくり上げる光の空間

グラフィックデザイン、電気設備工事、そして S-Cube で展開する照明空間デザイン「灯家 akarie」と、3 つの形態で事業を進めています。「灯家 akarie」はライティング・コーディネートターが、人をとりまくさまざまなシーンでもっとも適した光の環境を考え、豊かに彩る「空間づくり」を演出します。



【マイデジノによる照明空間の実例】商品棚のライティングも棚の造作もコーディネートすることで商品価値を高める「空間づくり」となっている。

うちの強みは電気工事ができること。たとえばネットで買った可愛いアンティークのランプを取りつけないと思っても、屋根の強度やワット数などの関係で現在の住居に設置不可能なこともあった。そこに電気工事のプロがいることで、照明デ

てもらい申請中で、背中を押していただいています。手厚い補助が魅力で、行政の情報もすぐ手に入りますし、今はお休みしていますが交流会も頻繁に開かれるので、ほかの企業さんのお話も聞けます。あと卒業された企業さんが残した不要品のメールが流れてくるので、それも大変助かっています(笑)。

これからのこと

スタイホームで 見直される家の快適性

今これまで手がけた案件の評判が口コミで広がっていて、ひと部屋だけ、照明を変えたいという方からも、「こういう人を探していた」という声も大きく、手応えを感じています。また LED が出てから 10 年ほどの間に目覚ましい進化を遂げているので、照明にはまだまだ可能性がありそうです。「フチリフォーム」というモデルビジネスを打ち出して展開していきたいですね。新型コロナウイルスの影響から家で過ごす時間が増えると、居心地のいい空間を求める方も多くなると思います。

今後の展開は、まず事業を確立させること。この年で施工実績もできてきたので、積極的に PR 活動をしていきます。ウェブサイトで SNS も活用しながら「気軽に受注できるしくみ」をつくりあげたい。それと 3 年後には「灯家 akarie」のショールームを開設する予定。事務所やみんなが集えるコミュニティスペースも併設して、飲食やイベントができる場所にしたい。人につながることでアイデアは生まれ、夢もどんどん広がっていきますから。

起業家のキラキラ

人生が輝くためのキラキラした、楽しいこと、モノ、言葉などを紹介！

仕事の時に手放せないモノ

紙になんでも描く派で、今はモレスキンのノートを使っています。どんな筆記用具でも滑らかで描きやすい紙質もお気に入りのポイント。思いついたアイデアやスケッチは次々に書き込んでいって。走り書きした感想も記憶をたどれば、新しいアイデアにつながることがあります。

挑戦していること

年に 1 回トレイルランの大会に出ています。私の仕事はデスクワーク中心なので、どうしても運動不足になりがち。3 年ほど前から毎日 6000 歩は歩くようにしていて、それが高じてはじめて山を駆け抜けるのがとっても爽快です。今年はまだ行けてないのですが、年内にはぜひ参加したいです。



大事にしている言葉

起業した頃に先輩が言われた「一生懸命やったら、結果は後からついてくる」という言葉。デザインの場合、結果が見えるまでのプロセスが長いので売上に対する労働のバランスが悪いと思ってたけど、この言葉が目が覚めた。「真摯に向き合うこと、そのプロセスこそが大切だ」と肝に銘じている。



【担当 IM】
インキュベーション・マネージャー
奥田 三枝子

インキュベーション・マネージャーの視点

照明は、その使い方によって人の気持ちを力づけてくれたり、癒してくれたりするもので、とても繊細な感性が必要です。女性の視点・感性をデザインというカタチに変えることを得意として来られたデザイナー・真柴代表の灯家 akarie。「人の心を癒し、生活に豊かさを与える事業」として、人とのご縁を大切にされながら、コツコツと努力されています。雑誌の中からでもやるべきことを見つけ、すぐに行動に移されています。これからも持ち前の明るさで、お客様の未来を照らしていただきたいと思います。

起業のきっかけ

照明にこだわることで 空間はもっと豊かになる

もともと私はグラフィックデザイン、夫も電気設備工事を個人で行っていました。それぞれの事業の発展にともない、社会保険などが整った組織づくりが必要となったんです。そこで別々におこなっていた事業を統一し、事務所も構えることに。2013 年に自宅兼事務所を建築し、その頃から「こだわった照明計画を提案して素敵な空間をへる「灯家 akarie」の構想が生まれました。

当時とある経営者の会での話をしたところ、出席者から弟さんが経営するパン屋について相談がありまして、現地を見るときに少し暗い。しかしヒールの履いたテナントで大きな工事は難しい。そこで提案したのが、新しくつくった棚の背後に照明をつけ、パンを照らす方法。これだけで商品が美味しそうに見える。壁紙の色やテナントも変え、外灯もつけたことで夜の集客が増えた。素敵な内装と同時に口コミも刷新しよとなり、リーフレットやホームページでかけることに。3 つの事業の要素がひとつになった瞬間でした。この仕事の成功で、光明を見出し、一気に事業化を進めたんです。

入居してみても

いつも背中を押してくれる IM との面談が楽しい



入居してよかったのは、担当のインキュベーション・マネージャーがついて、前向きな言葉や有益なアドバイスももらえること。おかげで昨年は大阪郊外にも出展できました。こちらの投げかけに対して、レスポンスもスピーディーで事業展開に悩んでいると、すぐに参考になる知り合いの会社を紹介してくれ、訪問時には同行してもらえました。先日も専門外のことでも問い合わせがあった時には、自宅からリモートで打ち合わせに参加してフォローしていただいて、これにはとても感激しました。

現在「灯家 akarie」の商標登録も相談のこ



安全・健康に過ごせるように
建設工事に携わる人々が

もともとホテル業を営む祖父母が、給食センター事業を立ち上げ、それを父が書業給食として会社の形にしました。当時、1970/80年代の堺は臨海工業地帯が隆盛を迎えていた時期で、とても順調だったようです。残念ながら私が高校生になる時に父は急逝し、事業はいったん閉めることになったのですが、いずれ自分でなんらかの事業を起したいという想いはありました。

起業する前はゼネコンに勤めており、工事現場で働く作業員の姿はよく見ていました。特にプラント工事は特殊で長期間の出張者が多く出る。しかしその宿泊環境はすべてが快適とはいえない状況。現場を知る人間としては、少しでも彼らの役に立ちたいと考え、父の会社名を継承して2015年に起業しました。家業から得たノウハウや、さらにゼネコンでの経験もあって、現場を把握していることを強みにできるのではと考えました。

起業のきっかけ

建設工事に携わる人々が安全・健康に過ごせるように

S-Cube
 入居5年目

工事現場で働く人を
 手厚く下支えする

輝く起業家紹介

青雲給食株式会社 代表取締役 杉林正敏さん

【入居オフィス】堺市北区長曾根町130番地42 さかい新事業創造センター101号室
 【入居期間】2015年~【事業内容】建設業における寄宿舎の管理・給食業

【URL】http://seiuin-k.co.jp/



入居してみても相談できる

IMの存在が心強い

事務所開設に向けて調べていくなかで、S-Cubeの存在を知って、創業に関わったのが私をはじめ堺や東北の出身で、また出張が多いので立地も重視しました。堺市の建物に入居していることで、社外に与える信頼感もあります。そういった利便性や手厚い補助はもちろんです。経営支援の専門家である担当インキュベーション・マネージャー(以下IM)の存在は大きく、会社運営について初心者である起業家にとって不安は山積みです。そんな時、安定した経営を実現するまで、IMによる確かな経営サポートが受けられるのは最大のメリットじゃないでしょうか。

当社は全体で100名ほど従業員がいます。最



【URL】http://seiuin-k.co.jp/

事業内容

作業員の管理・清掃・給食
 をトータルでサポート

全国各地に建設工事の現場はあります。青雲給食は、そんな工事に携わる作業員や関係者に向けた寮・住宅の運営事業をおこなう会社です。メインとなるのは原子力・火力発電所やゴミ処理施設など、いわゆるプラントの工事現場で、業務内容は大きく3つ。作業員の入退室の管理業務、共同使用する食堂や浴室などの清掃業務、そして給食業務です。工事期間の生活を左右するこれらの業務を一括でおこない、作業員たちが毎日、元気に働けるための下支えをしています。

特色としては「地元貢献すること。食材はもちろん日用品などを地元調達し、管理人以外はスタッフも現地で採用するようにして、現場で働く作業員は短い人でも1年、長い人になると3年は入寮されます。彼らにとって最大の楽しみは、仕事のあとのお風呂と食事。ですから美味しく栄養バランスの取れた家庭料理で、快適で清潔なお風呂の提供には力を入れています。



近では働き方改革もあり、「会社としてどこまで従業員に寄り添えるか」悩んでいて、これも相談にのっていただいて、7月から給与と体系を見直しました。また会社間契約での書類が非常に多いのですが、弁護士を紹介してもらい、スムーズに契約を結べるようになりました。正直な気持ちとしては、ずっと入居してたいくらいです(笑)。

これからのこと

さらに多くの工事関係者の役に立てるように発展を

この5年間は会社を継続していくのが精一杯。ようやく会社としての義務教育が終わったかなと、だからこそ今後の5年が正念場。どこまで継続していけるか、さらにもっとような形で事業を發展させていくのか。現在、当社はプラント関連の工事が中心ですが、今後は土木の方面にも範囲を広げ、より多くの工事関係者のお役に立てればと考えています。

とはいえ基本的な商売の軸を変える気はなく、今後も「工事」に従事する大勢の方を預らせていただいているという認識のもと、運営していきます。この仕事は現場で働く人を支える、必要不可欠な仕事だと自負していますから、共同生活ではこちらの想定を超えることが起こりま。それをひとつずつ丁寧に対応することで、快適さを提供し続けたい。

組織としては継続と安定が、いっそう大切な時代になるでしょう。そのためにも従業員が働きやすい環境をさらに構築して、整えていきたいと考えています。

人生が輝くためのキラキラした、楽しいこと、セ、言葉などを紹介!

起業家のキラキラ

大切にしている言葉

社名の由来である「青雲之志」。これは「徳を磨いて立派な人物になる」ということ。志や「立身出世しよう」と願う心の意味を持ちます。オフィスにはこの言葉を額に入れて飾り、スタッフにも根づかせ、私自身どんな時も忘れないようにしています。



青雲之志

私の健康法

10数年来、和歌山の串本で磯釣りを続けてます。心身ともにしんどい時こそ出かけるようにして、独りでぼーっと浮きを眺めていると無心になれる。そのひとときがリセットしてくれる。頭を空っぽにして帰路につくので、帰り道に車を運転しながら新しいアイデアが浮かぶこともあるんです。

これから
 起業する人へアドバイス

最初はみんな不安だらけだと思いますが、「とりあえず一歩踏み出すこと」。頭のなかで考えるのもいいのですが、行動しないと見えないものも見えないので、誰しも最初から大きなことはできない。だからこそ、自分の枠を定めてから動き出すことが大事です。

【担当IM】
 インキュベーション・マネージャー
 山本 裕司

インキュベーション・マネージャーの視点

「青雲給食株式会社は、5年前、杉林社長を含め3人のメンバーで会社を立ち上げられ、創業当初から「猛烈に」仕事に打ち込み、事業を伸ばしてこられました。建設現場での経験と視点を基に寄宿舎の運営を進め、仕事の助所がわかっていいため、取引先から大きな信頼を得ています。

すでに100人近くの従業員の方がおられ、優秀なスタッフも育ってきました。これまでは杉林社長が事業を引っ張ってこられたのですが、今後は、事業を後押しする立場に変わっていくと思います。これからも今の成長の勢いが続きそうです。

創業間もない方と、創業をお考えの方に…

スタートアップ専用のワークスペース!



創業準備デスク

月額賃貸料 (共益費含む) **12,000円**

※別途消費税が必要になります。

?

創業準備デスクとは

起業予定者など、事業のスタートアップをめざす方専用のサテライト・ブースです。専門家の創業サポートが心強いワークスペースで、最長1年半の入居が可能です。

!

ココからスタート!!

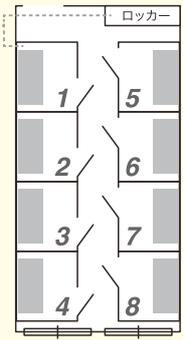
今までに、数多くの企業、個人事業主が、ここからスタートしました! スタートアップをめざす利用者同士の交流も魅力です。

!!

嬉しい準備デスクのメリット!

- 専門家が経営支援!
- 事業所登記が可能!
- インターネット無料!
- ロッカー付き!
- レンタルビジネス書!
- ドア付きパーテーション
- 24時間利用可能!
- 複合機の利用が可能 (有料)

- ブース(幅・奥行き) 1900×1650mm
- ロッカー(幅・高さ・奥行き) 250×550×450mm
- デスク(幅・奥行き) 1600×800mm
- チェア 3段階机付き



知的創造の場にふさわしい快適な事業空間 入居者随時募集中

(公財) 堺市産業振興センター・堺商工会議所・大阪府立大学と協力して企業間連携や産学連携を力強くサポート

経営サポート

最大50%の
公的賃料補助

充実の
設備・環境

24時間
利用可能

駐車場は
月額8,000円~

創業準備デスク 8ブース



創業をめざす方に

月額賃貸料 (共益費含む) **12,000円**
※消費税除く

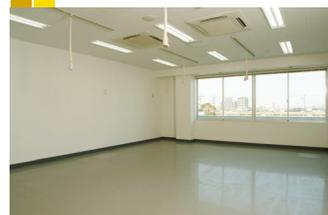
オフィス 47室



創業間もない方や
新分野に挑戦する企業に

月額賃貸料 (共益費含む) **46,500円~**
※消費税除く

ラボ 8室



研究開発を行う起業家や企業に

月額賃貸料 (共益費含む) **81,000円~**
※消費税除く

マルチラボ 4室



月額賃貸料 (共益費含む) **224,000円~**
※消費税除く

シェアードオフィス

自宅以外の活動場所に最適

月額利用料 **5,000円~**
※消費税除く



空室状況や
賃料補助制度については
お気軽にお問合せください。

Tel: 072-240-3775

S-Cube 株式会社さかい新事業創造センター

s-cube 堺



S-CubeQR
QRコードを読み
込むとホーム
ページへアクセス
できます。



〒591-8025 堺市北区長曾根町 130-42 | TEL | 072 240 3775 | FAX | 072 240 3662 | E-MAIL | info@s-cube.biz | URL | www.s-cube.biz

S-Cube だより 特別号 Vol.17 (2020年10月) [企画・編集・発行・問合せ] 株式会社さかい新事業創造センター